

事業概要

・医療費が高い傾向にある7市町村に集中して調査を実施

対象市町村：上野原市、南部町、大月市、身延町、富士吉田市、山梨市、中央市

- ・医療費が低い傾向にある都留市、北杜市も対象とし、比較分析
- ・調査項目

- ①過去5年間の健診・医療データを分析し、疾病状況からの要因を分析
- ②対象市町村を訪問・ヒアリングを実施し、食生活、産業構造などの地域的要因を分析
- ③分析結果に基づき、今後有効と考えられる対策を提示し、今後の取り組みを支援
- ④調査結果については、全ての市町村を対象に説明会を開催し、情報共有

*** 県外医療機関への通院・入院の状況、医療費が上昇傾向にある場合はその要因など、深掘りした調査を実施**

*** 必要に応じて、当課配属の保健師から技術的な助言を実施**

事業実施状況

■契約

- ・5月に公募型プロポーザル（企画提案審査方式）を実施、2社参加。
- ・選定の結果、株式会社データホライゾンと契約。契約額 34,650 千円（予算額 48,508 千円）

■調査結果 ※ (高)・・・医療費が高い (低)・・・医療費が低い

市町	地域要因	取り組みの方向性
(高) A	① 健康行動、受診行動への抵抗感が強い ② 特定の薬剤の使用量の多さや頻回受診が見受けられる	① 早期の健康行動・受診行動により元気でいられることが格好良いことであるという意識改革のための普及啓発活動 ② 保険制度としての「上手な医療のかかり方」を促す
(高) B	① 年齢構成（40歳以上及び65歳以上人数割合が高い） ② 自ら健康行動を起こす傾向が低い	② 行政職員と住民の信頼関係をベースにした行動変容の働きかけの継続・強化、及び住民組織と連携した取組の強化
(高) C	① 生活習慣を改善するつもりのない者が多い ② 社会・経済要因（未婚率・課税対象所得額の低さ、自殺死亡率の高さ等）により個人レベルで生活習慣を変えることの難しさがある可能性	①② 検査結果・問診結果等が何年も継続して変わっていない被保険者等に対し行動変容に至らない背景の聞き取り及びSDH（健康の社会的決定要因）を踏まえて庁内関係部署と共同した対策。

市町	地域要因	取り組みの方向性
(高) D	① 市外医療機関受診時の一日当たり医療費の高さ ② 塩分摂取量が多い ③ 退職者（現役世代都内通勤者等）の地域とのつながりの薄さ	② 減塩対策の継続 ③ 退職後の地域との接点を支援する施策の検討 職域保険への加入時から健康行動を習慣化するため、地域職域保険と連携した取り組みの実施
(高) E	① 間食習慣を有する者が多い ② 身体活動が少ない（居住地が分散傾向にあることが関連）	① 食生活改善推進員と連携し、食生活に係る普及・啓発の取り組みの中で間食習慣に関するアプローチに重点を置く ② 自宅のできる身体活動に係る情報提供の強化
(低) F	① 健康意識が高い ② コンパクトで歩きやすい町	
(高) G	① 重複受診者割合・入院外医療費が高い（医療機関数の多さに関連）	① 長期多剤服薬者に対する取り組みの検討
(低) H	① 病床数の少ない、在宅療養支援病院・診療所の多い ② 健康意識と自発性が高い、第一次産業従事者が多い（身体活動なしの者の割合が低いことに関連）	
(高) I	① 精神病床数の多さ ② がん精密検査の受診率の低い ③ 就寝前の夕食や間食習慣のある者の割合が高い、運動習慣なしの者の割合が高い	② がん精密検査受診率の向上に向けた取り組みの検討 若年時からのがん検診受診促進に向けた取り組みの検討 ③ 保険事業の中で、食事習慣、運動習慣の改善を意識した内容とする

■調査結果の活用

- ・全市町村を対象に説明会を開催し、調査結果と対応案を説明、情報を共有（1月27日実施）。
- ・県及び市町村において、新規事業の企画立案、市町村保健指導の参考資料としての活用を予定。